

環境省による第4回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の 金融サービス部門（証券部門）において銀賞を受賞

みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、環境省がESG 金融の普及・拡大に向けて開催する第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の金融サービス部門（証券部門）において、銀賞を受賞しました。第2回（2020年度）、第3回（2021年度）の銅賞受賞に続く、3年連続での受賞となります。



本アワードは、企業などのビジネスモデルを持続可能なものへと移行することを支え、環境・社会・経済に対してインパクトを与える取り組みやサステナブルファイナンスの拡大を促進する投資家、金融機関、金融サービス事業者およびそれら資金を活用する資金調達者について、その総合的に優れた組織や先進的な取り組み、他の模範となるような取り組みなどを表彰し、広く社会で共有することにより、ESG金融のさらなる普及・拡大とその質の向上につなげることを目的として、環境省が創設したアワードです。

当社は、ESG投資の拡大に貢献する債券等の発行支援（引受）や金融商品の販売により、環境・社会へのインパクトを創出すると期待される事業及び企業への資金供給を促進した取り組みを表彰する「金融サービス部門（証券部門）」において、以下の点などが評価され、銀賞の受賞に至りました。

- ・ SDGs債の様々な課題について外部評価機関や官庁とコミュニケーションを取って解決を図っており、投資家に向けた開示情報の透明性の向上や発行体の負担軽減などに注力する姿勢、新規ファンドの導入にも積極的な姿勢
- ・ トランジションボンドに対する欧州の投資家の反応を理解しており、今後は国内の発行体における科学的根拠に基づいたトランジション戦略策定のサポートにも期待ができること

今後も、サステナブルファイナンスの発行支援、引受業務ならびに金融商品販売業務のさらなる推進により環境・社会へのインパクトを創出し、環境の保全、および経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献していきます。